



令和2年2月6日(木)
国土交通省 関東地方整備局
川崎国道事務所

記者発表資料

R2国道409号大師河原交差点歩道橋設置他工事で 「見積活用方式」「間接工事費実績変更方式」を試行します

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R2国道409号大師河原交差点歩道橋設置他工事」については、^{だいたいがわら}標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、「見積活用方式」及び「間接工事費実績変更方式」の試行を行います。

①「見積活用方式」

本工事は、国道409号川崎市川崎区大師河原一丁目地先～同区江川一丁目地先において、横断歩道橋の設置工事を行うものです。

本工事は、国道409号の市街地部であり、非常に交通量が多い交差点における狭小な施工ヤード内での施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を採用します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定していません。

②「間接工事費実績変更方式」

「安全費」において、標準的な積算と実勢価格に乖離が予想されるため、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費(率分)を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、
神奈川県政記者クラブ、川崎記者クラブ、横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局川崎国道事務所 電話044-888-6411(代表)
副所長 飯野 正樹(いの まさき)
工務課長 千葉 直志(ちば なおし)

《 間接工事費実績変更方式の工事概要 》

(1) 工 事 名 : R2国道409号大師河原交差点歩道橋設置他工事

(2) 工事場所 : 自) 神奈川県川崎市川崎区大師河原一丁目地先
至) 神奈川県川崎市川崎区江川一丁目地先

(3) 工 期 : 契約の翌日から令和5年3月31日まで(予定)

(4) 入札方式 : 一般競争入札 総合評価落札方式

(5) 工事種別 : 鋼橋上部工事

(6) 工事内容(概要)

工場製作工 1式(鋼製橋脚含み約290t) 工場製品輸送工 1式
歩道橋本體工 1式 既製杭工 23本(鋼管杭φ600 L=約40m)
橋脚フーチング工 9基 橋台軀體工 5基 エレベーター設置 4基
地組工 1式 歩道橋架設工 1式 現場継手工 1式 現場塗装工 1式
既設歩道橋撤去工 1式 仮設工 1式

(7) 見積の提出を求める工種「見積活用方式」

・直接工事費のうち「作業土工(床掘り)」「歩道橋架設工」。

(8) 実績により変更を行う工種「間接工事費実績変更方式」

・共通仮設費(率分)のうち、「安全費」。

(9) 見積の提出を求める理由

本工事は、国道409号の市街地部であり、産業道路との交差点となっており、埋設物が非常に多く、下部工施工時においては、細心の注意を払いながらの床掘作業が見込まれます。また、上空の首都高速道路の高架橋に近接するため、歩道橋架設時にも細心の注意を払いながらの架設作業が見込まれます。

以上より、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられる工種においては、入札参加者から見積の提出を求め、その妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

(10) 実績により変更を行う理由

本工事は、国道409号の市街地部の自動車交通量及び歩行者交通量が多い交差点内における施工であり、また首都高速道路の高架橋直下の狭隘なヤード内での施工である。

交通規制等については、夜間工事規制のため規制帯等の設置撤去が日々発生することが見込まれます。また、狭隘な施工ヤード内で歩行者動線の確保が必要となります。

以上より、「安全費」において標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想される地区においては、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費(率分)を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

(11) スケジュール

○入札公告 : 令和2年 2月 7日(金)

○開 札 日 : 令和2年 5月 14日(木)